

科目名	環境都市工学演習（1b） Civil Engineering Exercises Ib	科目コード	51450
-----	--	-------	-------

学科名・学年	環境都市工学科・4年（プログラム1年）
担当教員	押木 守（環境都市工学科）
区分・単位数	履修単位科目・必履修・1単位
開講時期・時間数	後期，30時間【内訳：講義10，見学12，その他8】
教科書	
補助教材	自作教材（見学先の資料等を含む）
参考書	

【A. 科目の概要と関連性】

既存または建設中の都市施設や環境関連施設を見学し，授業で身に付けた知識を用いながら，施設の社会的な意義，施設の構造的な特徴や機能および施工法について学習する。また，この授業での見学を以後の学習に関する予備知識を身に付ける機会とすることもある。

○関連する科目:環境都市工学演習(1a) (前年度履修), 建設マネジメント (次年度履修)

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(d)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と，成績評価上の重み付け，各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①都市施設や環境関連施設の社会的な意義を理解する	35%	(e1)
②都市施設や環境関連施設の構造的な特徴や機能を理解する	35%	(d1)
③都市施設や環境関連施設の施工法を理解する	30%	(d1)

【C. 履修上の注意】

実地の見学の前に，見学対象に関する十分な予備調査をおこない，不明な点は，実物の観察や先方の担当者への質問によって，明らかにすること。見学の報告(見学レポート)は，上記の「到達目標」との関連を意識してとりまとめること。見学先では，安全に留意した服装や行動をするほか，見学の希望を受け入れてくれた先方に対し，失礼のないようにしてほしい。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- レポート(100%)

【E. 授業計画・内容】

● 後期

回	内容	備考
1	授業案内	
2	見学(1回目)のための事前説明	
3	現場見学(1回目)	
4	現場見学(3回目の授業に合わせて振り替え)	
5	現場見学(3回目の授業に合わせて振り替え)	
6	見学レポート作成	
7	見学レポート作成	
8	レポートの講評と事後の解説(講義)	
9	見学(2回目)のための事前説明	
10	現場見学(2回目)	
11	現場見学(10回目の授業に合わせて振り替え)	
12	現場見学(10回目の授業に合わせて振り替え)	
13	見学レポート作成	
14	見学レポートの改訂	
-	前期末試験	試験期間のため休講
15	レポートの講評と事後の解説(講義)	